

2020.8.25 企業と地域の協働セミナー

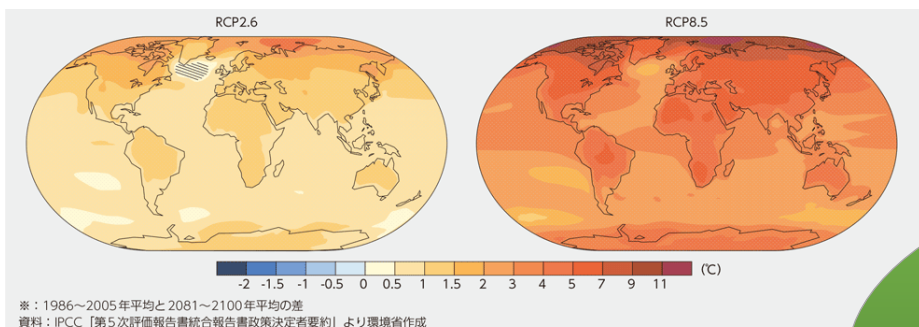


新しい社会を考える地域循環共生圏づくり —ローカルSDGs—

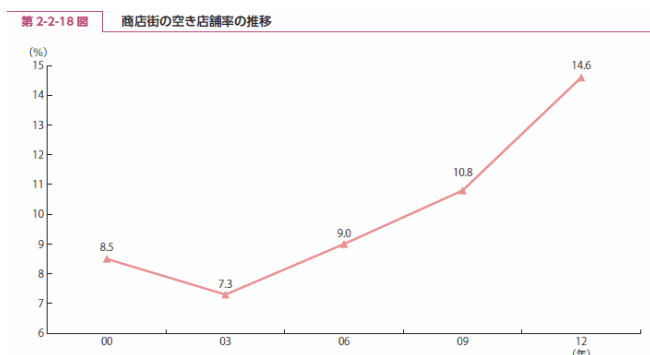
環境省関東地方環境事務所
地域循環共生圏構想推進室 速水 香奈



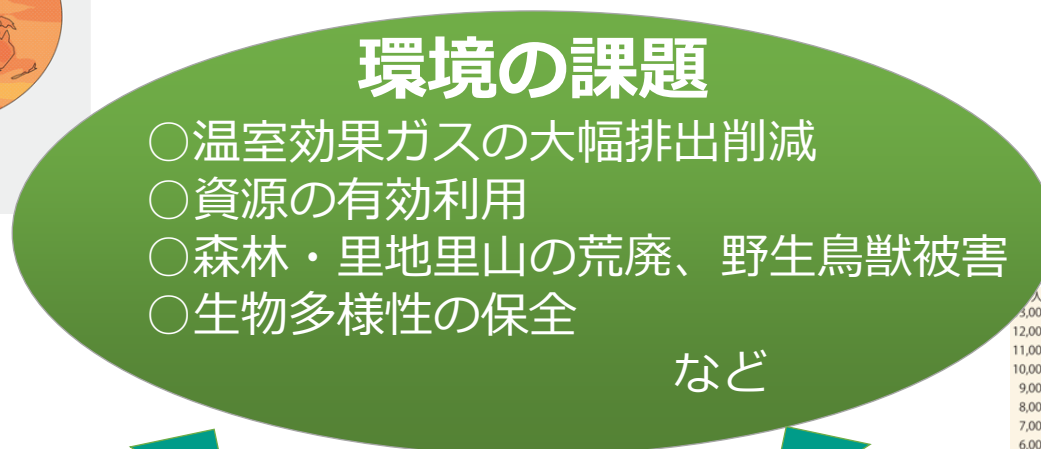
我が国が抱える環境・経済・社会の課題の同時解決



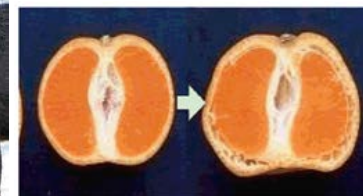
平均地上気温変化分布の変化(H29環境白書より)



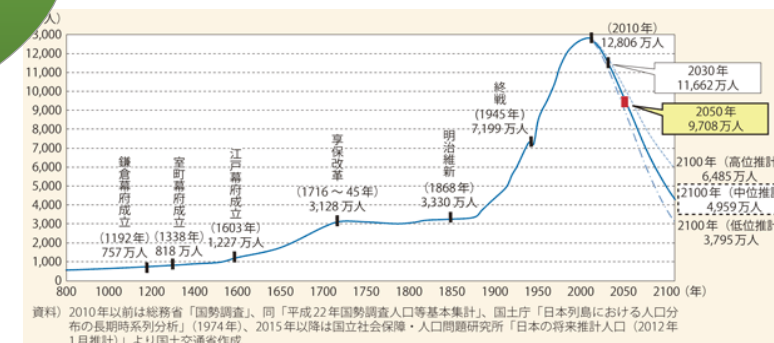
商店街の空き店舗率の推移
(中企庁HPより)



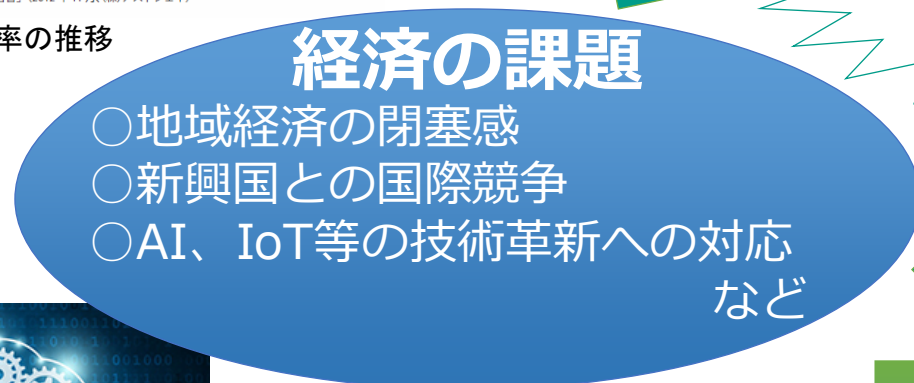
ニホンジカによる被害
(環境省HPより)



高温によるミカンの浮皮症
(H30環境白書より)



我が国人口の長期的推移
(国交省HPより)



相互に関連
・複雑化

環境・経済・社会の
統合的向上が求められる！



第五次環境基本計画の基本的方向性

目指すべき社会の姿

1. 「地域循環共生圏」の創造。

- ※ 各地域がその特性を活かした強みを発揮
→ 地域資源を活かし、**自立・分散型の社会**を形成
→ 地域の特性に応じて補完し、**支え合う**

2. 「世界の範となる日本」の確立。

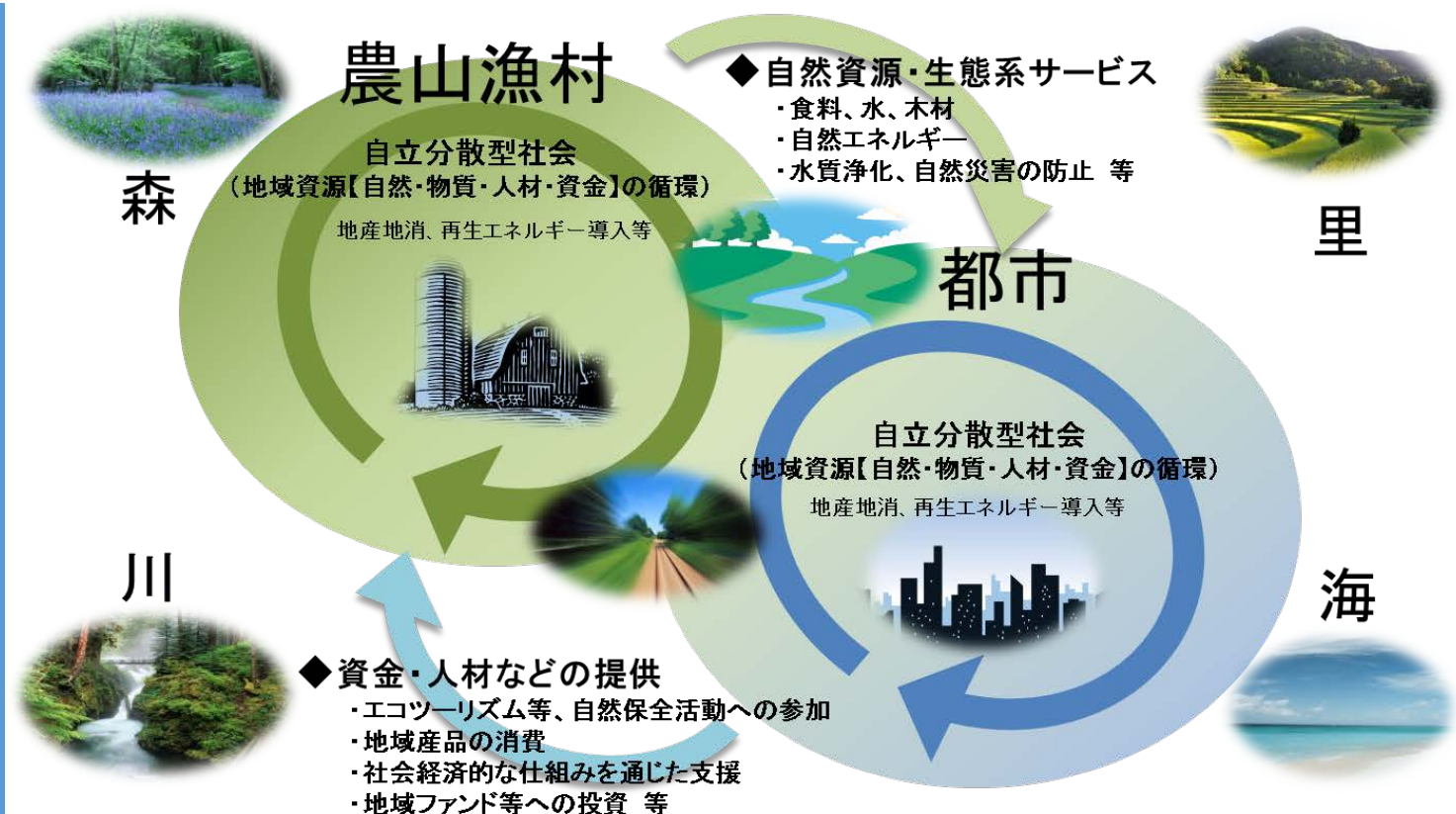
- ※ ① **公害を克服**してきた歴史
② 優れた**環境技術**
③ 「もったいない」など**循環**の精神や自然と**共生**する伝統を有する我が国だからこそできることがある。

3. これらを通じた、持続可能な循環共生型の社会（「**環境・生命文明社会**」）の実現。

- ✓あらゆる観点からイノベーションを創出
✓幅広いパートナーシップを充実・強化

生活の質を
向上する
「新しい成長」
を目指す

地域循環共生圏



地域循環共生圏の構築に向けて

低炭素・資源循環・自然共生

◆自然資源・生態系サービス

地域

自立分散型社会

(地域資源【自然・物質・人材・資金】の循環)
地産地消、再生エネルギー導入等



資金の循環
三方よし基金
(東近江市)



高梁川流域学校
Life Innovative Tourism Organization Network

流域人材の育成
高梁川流域学校
(高梁川流域)



自然資本の再生
榎野川自然再生協議会
(山口県榎野川流域)



資源の循環
廃棄物堆肥化と
ブランド化
(鹿島市)



エネルギーの循環
薪ボイラーの導入
(南砺市)



大学との連携による
人材確保
(徳島県小田原市)



民間企業との連携
宗像国際環境100人会議
(宗像市)



環境配慮型製品の
販売促進
コウノトリレンコン
(徳島県吉野川流域)

2 地域の再エネ連携
(東北12市町村・神奈
川県横浜市)



国際認証製品の
販売促進
(南三陸町)

地域循環共生圏

2 地域の交流強化
(大阪府吹田市・能勢町)

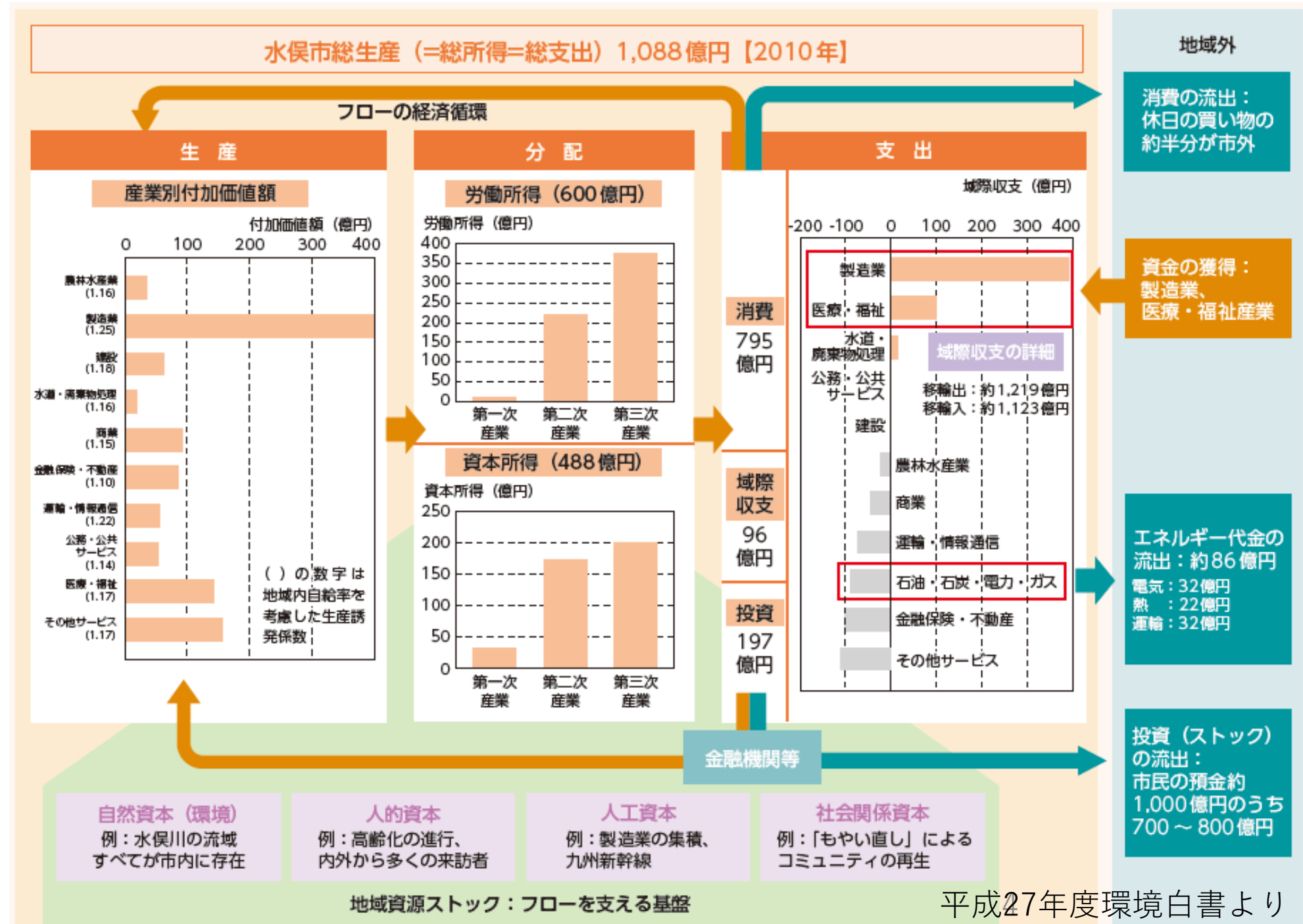


都市部など 地域外

◆資金・人材などの提供

地域経済循環分析

- 「生産」「分配」「支出（消費、投資、域際収支）」の資金の流れを、循環構造に沿って見ることで、地域の「強み」と「課題」を定量的に明らかにする「地域経済循環分析」※
- 1800自治体分の地域経済循環分析用データベースを構築し、HPで公開中。



「地域循環共生圏」の概念

地域循環共生圏



資源を循環利用して持続する「自立」した地域が、相互に連携し機能する。



地域の特性、地域資源の性質に応じ、**最適な規模で地域資源が循環**する。

➤ 狭い地域での循環に適した資源

⇒ コミュニティや自治体レベルの小さな領域で循環

➤ 広い地域での循環に適した資源

⇒ 河川流域、都道府県、国など地域を越えたより広い領域での循環

ー サイバー空間とフィジカル空間の融合により、地域から人と自然のポテンシャルを引き出す生命系システム ー

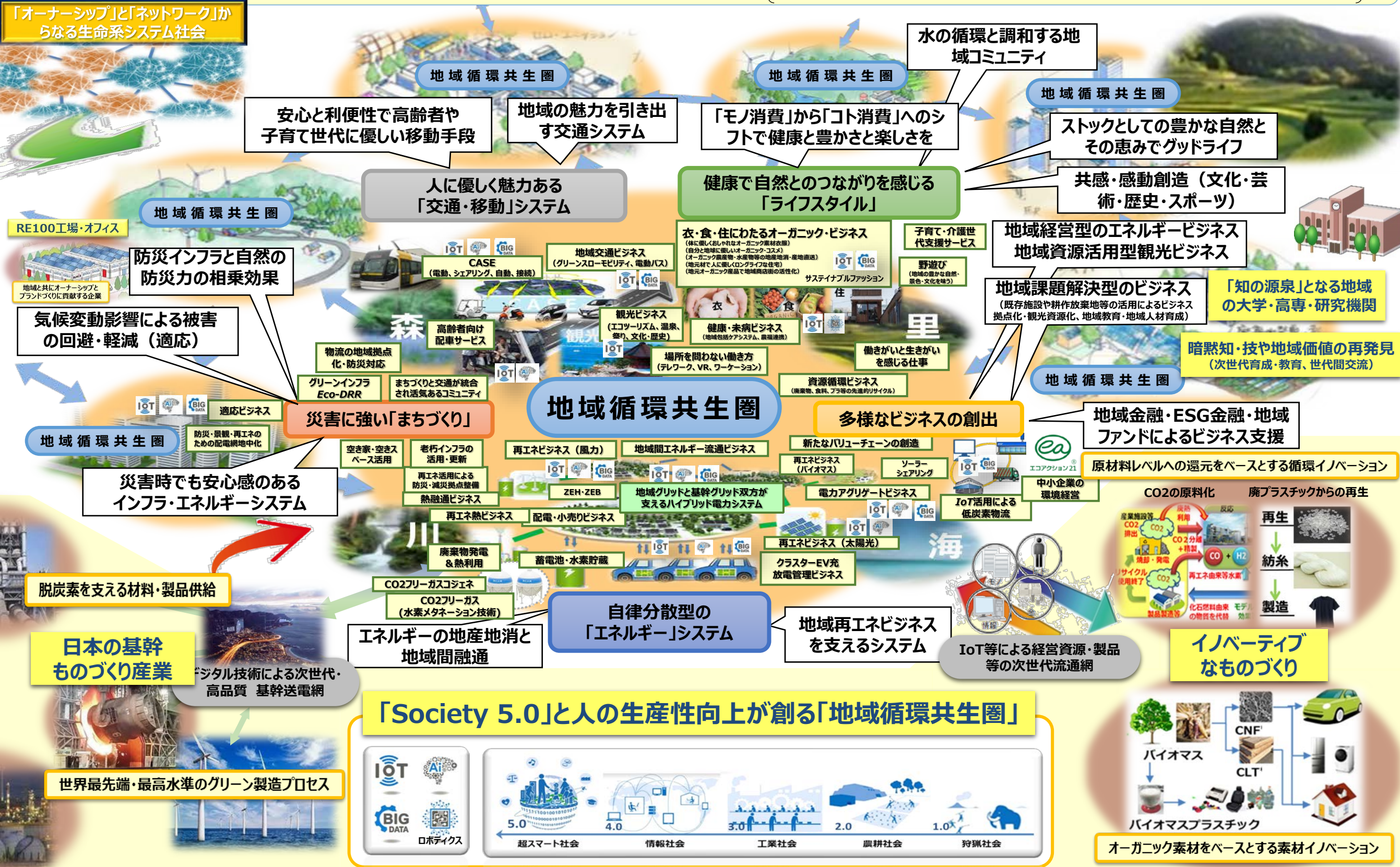
Ver. 25

「自立分散」 × 「相互連携」 × 「循環・共生」 = 活力あふれる「地域循環共生圏」 ⇒ 「脱炭素化・SDGsの実現、そして世界へ」
「オーナーシップ」 「ネットワーク」 「サステナブル」 「人間の安全保障、次世代・女性のエンパワーメントを基盤に」

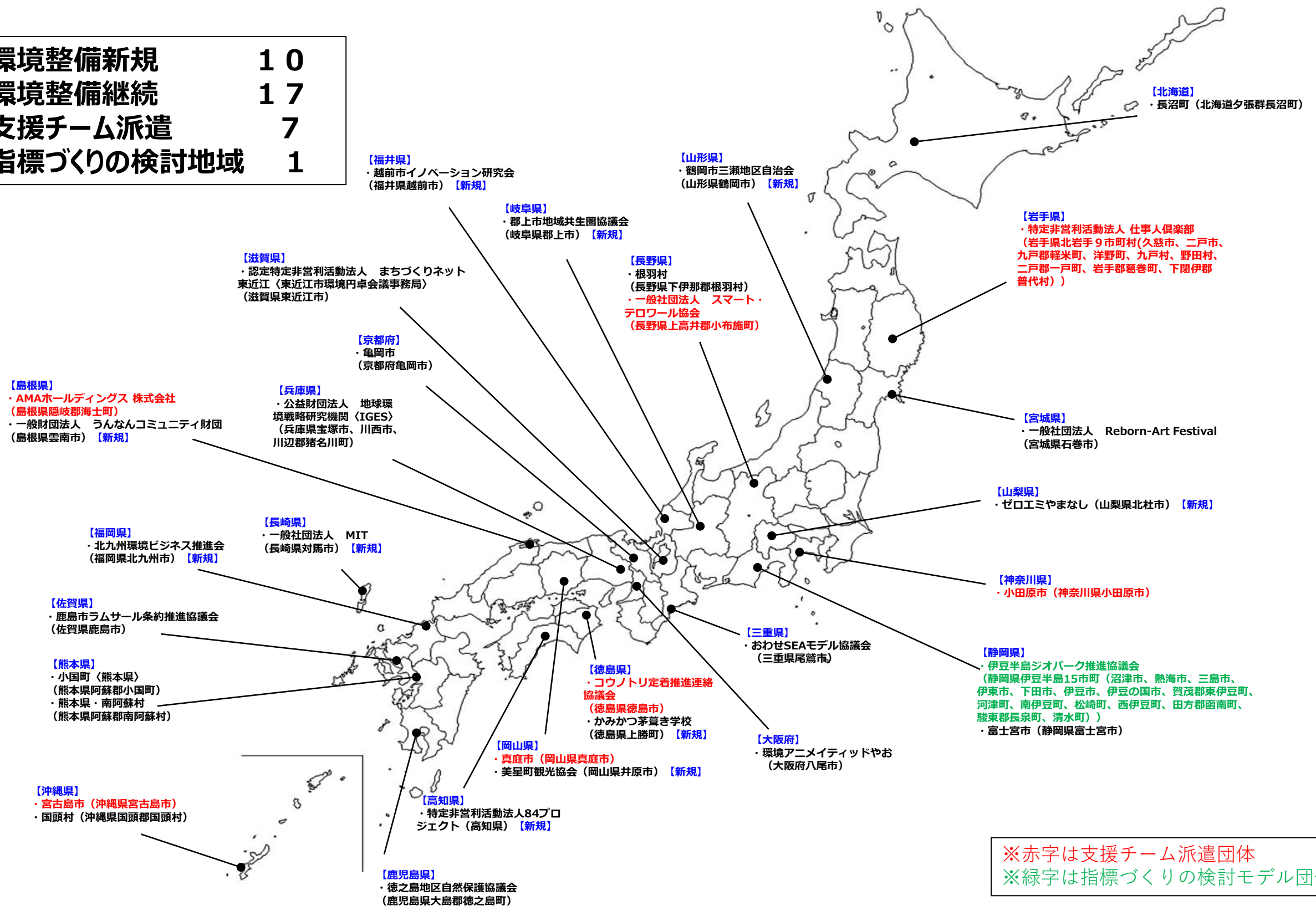
→ 新たな価値とビジネスで成長を牽引する地域の存立基盤

人々が健康で活き活きと暮らし幸せを実感することで、地域が自立し誇りを持ちながらも、他の地域とも有機的につながることにより、国土の隅々まで豊かさが行きわたる。

「オーナーシップ」と「ネットワーク」からなる生命系システム社会



環境整備新規	10
環境整備継続	17
支援チーム派遣	7
指標づくりの検討地域	1



※赤字は支援チーム派遣団体
※緑字は指標づくりの検討モデル団体

地域循環共生圏づくりのアプローチ

従来のアプローチ

ビジョン

- 基本計画
 - ・課題解決型
 - ・分野別対応
 - ・フォア・キャスティング



会議体

- 協議会・検討会
 - ・合意形成
 - ・環境分野の専門家・市民



取組

- ・規制
- ・補助金
- ・ボランティア



成果指標

- ・環境分野



地域循環共生圏づくりのアプローチ

ビジョン

- マンドラ（コンセプトシート）
 - ・価値創造型
 - ・包摂的・構造的対応
 - ・バック・キャスティング



SDGsアプローチ

会議体

- プラットフォーム・コンソーシアム
 - ・協働（パートナーシップ）
 - ・環境・経済・社会の各分野のプレイヤー
 - ・コレクティブ・インパクト（学びあいと連携）



取組

- ・経済的な仕組みをともなった事業
- ・同時解決

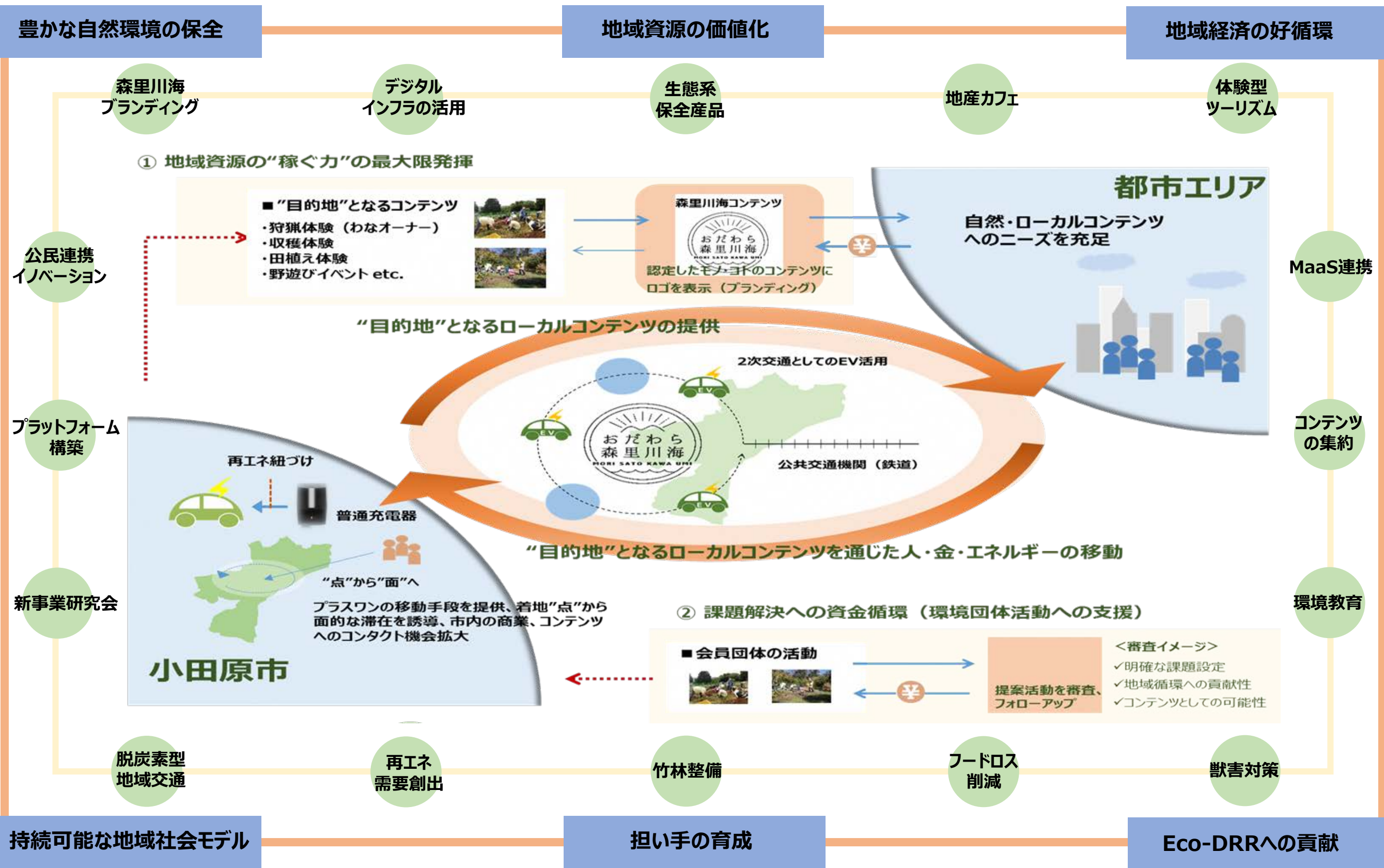
成果指標

- ・環境・社会・経済分野

今後の環境政策は両方のアプローチが必要

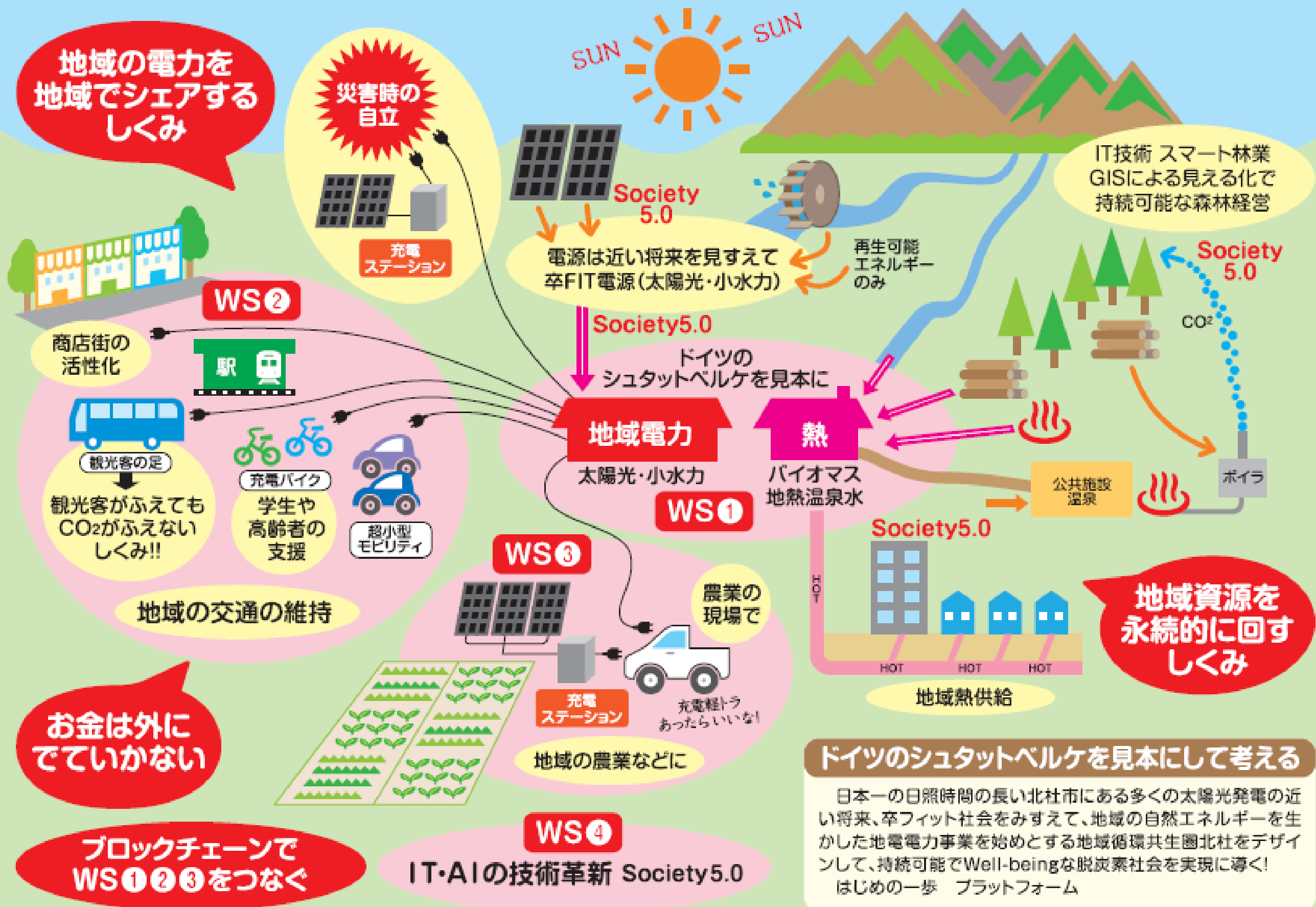
小田原市版曼荼羅

地域資源を磨き上げ、より豊かな状態で次世代へと受け継ぎ、生かす小田原



(一社) ゼロエミやまなし (山梨県北杜市) の曼荼羅

※現在検討中



人・モノ・金・ワザをつなぐプラットフォームの立ち上げ

地域・自治体

地域ビジネスづくり支援

- ・コンセプトづくり、**パートナーシップ**の強化、**ビジネス**のタネ探し
- ・支援チームの派遣
- ・先進事例・支援事業の紹介等

地方公共団体

実践地域登録制度

74団体

地方環境事務所

環境パートナーシップオフィス
(全国8カ所)

NPO等

民間企業

地域プラットフォーム

地域コーディネーター

各種協同組合

地方銀行・信用金庫等

企業・金融

ネットワーク強化

- ・財務局と連携した**地域金融機関・民間企業とのネットワーク**構築
- ・**ESG地域金融**で地域ビジネスの実現へ

マッチング・情報提供

全国

関係省庁

- ・活用可能な支援事業の紹介
- ・情報の共有
- ・フォーラム等への参加

地域づくり支援等の他のネットワーク

- ・相補的機能を有するネットワークと連携
- ・適切な機能分担
- ・情報網の共有、イベントの共催など

ESG金融

- ・地域におけるESG金融促進事業
- ・グリーンファンド
- ・21世紀金融行動原則 持続可能な地域WG

企業等登録制度

- ・地域循環共生圏の実現を共に目指すパートナー企業等の登録を呼びかけ
- ・技術・ソリューション単位でも登録可
- ・ESG経営の課題解決やビジネスのタネを生み出すオープンイノベーションの場として活用



環境省ローカルSDGsプラットフォーム

企業等登録制度の概要（6月26日開始）

目的

環境省ローカルSDGsの趣旨や目的に賛同していただける民間企業、協同組合、社団法人、財団法人、NPO、金融機関（企業等）に登録してもらい、**地域と企業等の協業（＝事業）**により、**地域の課題解決とESG経営の実現**を推進し、**全国各地においてローカルSDGsの創造を加速**させる。

制度の特徴

1. ローカルSDGsビジネス※の実現に向けた知見や技術の提供や実践地域との交流

- オンライン・オフラインにおけるマッチング支援
- 環境省が主催するシンポジウムや勉強会等の開催

2. 企業同士の学びあいやネットワークづくり

- 地域循環共生圏フォーラムや企業間ワークショップ等の開催

3. 地域循環共生圏に関連した他省庁の情報提供や意見交換の場づくり

- 定期的なメールマガジンの配信
- 環境省が主催するシンポジウムに他省庁も招へい

【※ローカルSDGsビジネスの定義】

- ①地域資源を活用し、地域内で資金、エネルギーや食などが循環している
- ②地域間で補完し支え合いの関係が構築できている
- ③環境を含むそれぞれの地域課題を解決し、自立分散型の社会づくりにつながる

地域×企業で目指すもの

1. 地域と企業の協業により、地域資源を生かしたビジネスが創発される

2. 地域の魅力や産品を、企業がビジネスとして活用することで、全国に広がる

3. 企業のESG経営を支える地域との関係が生まれる

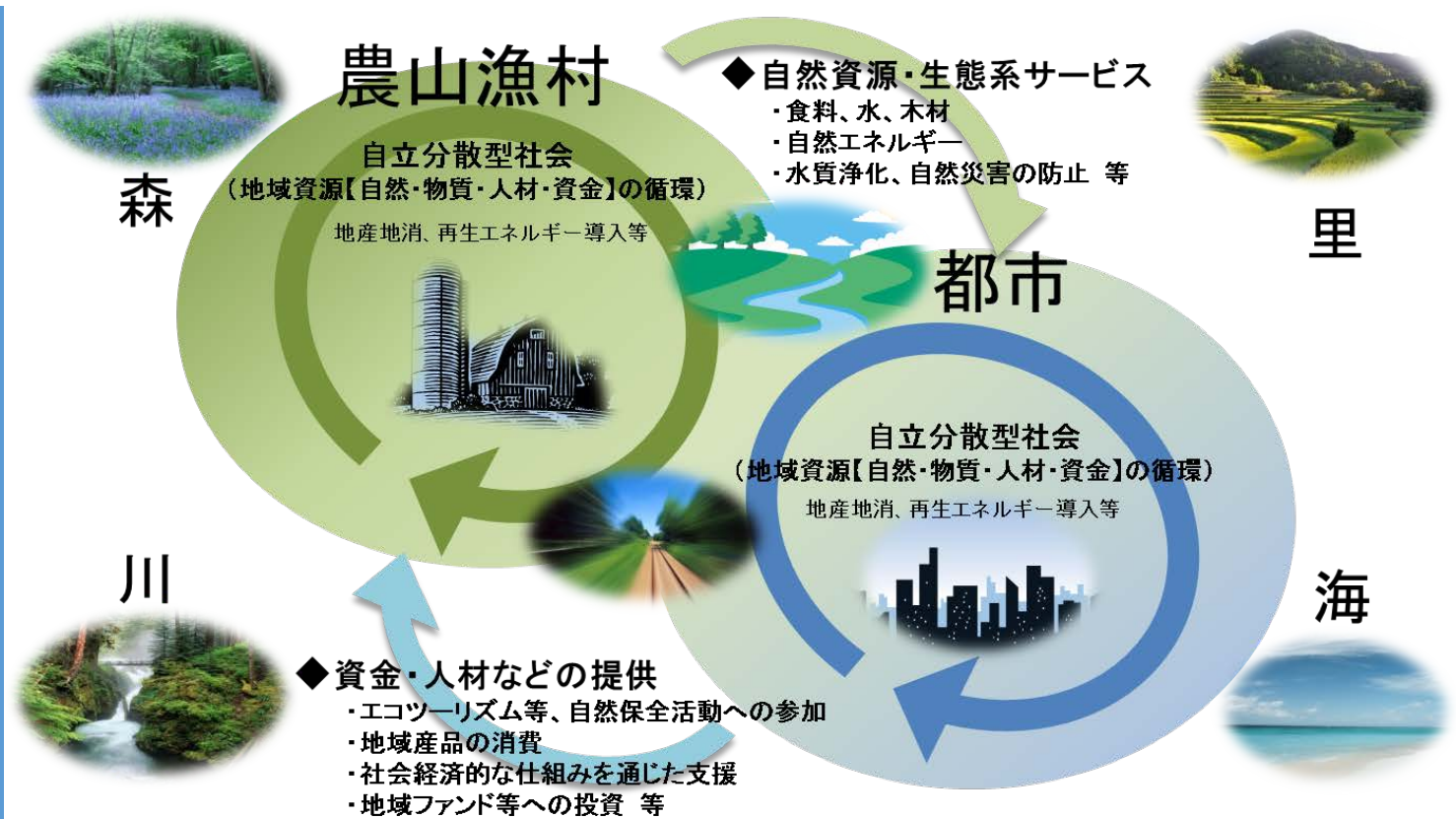
（再エネ導入、働き方改革、サプライチェーンのリスク分散など）

地域循環共生圏の創出に向けたESG地域金融の普及促進

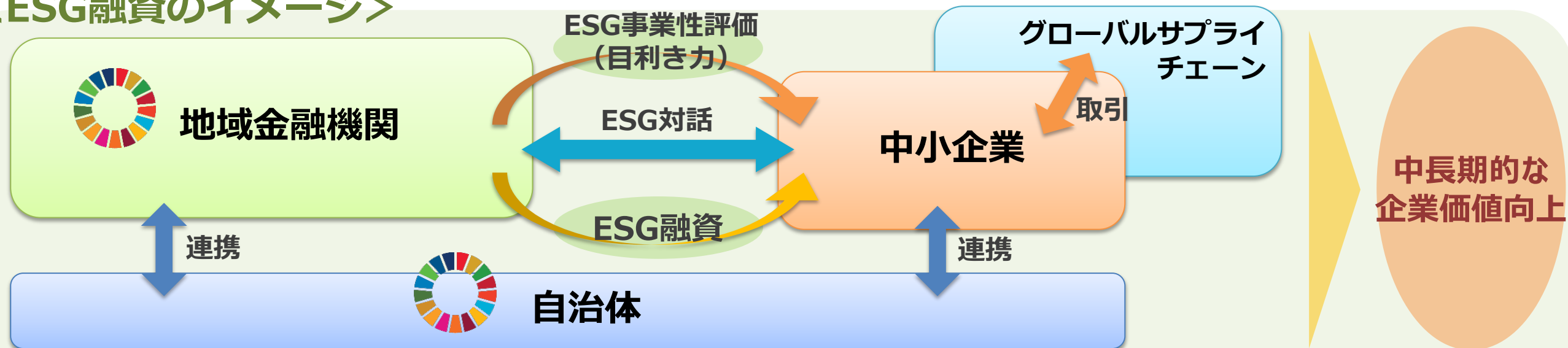
- ◆ 間接金融中心の我が国では**ESG融資**の拡大が重要
 - 特に地域金融機関による**ESG地域金融**の普及を支援

- ✓ ESG地域金融の実践へ
- ✓ 具体的な取組の支援
- ✓ 知見の整理

地域循環共生圏



<ESG融資のイメージ>



地域循環共生圏とは・・・ローカルSDGs

各地域がその特性（課題・ニーズ）に応じ、**地域資源**を活かし、**自立・分散型の社会**を形成しつつ、近隣地域と補完し、支え合うことで創造。環境・社会・経済の統合的課題解決により**脱炭素**と**SDGs**が実現した、魅力あふれる**地域社会像**。

● 「地域循環共生圏」 創造の重要なポイント

- ✓ ①地域課題とニーズを適確に捉え、②対応する地域資源を発見・活用し、③縦割りを超えた新たなパートナーシップを形成、地域連携を深化させ、④新たな価値を創造し、地域経済循環を向上させる
- ✓ 更に、「**テクノロジー×デザイン**」で課題を克服しつつ魅力を上げ、異分野との連携により「**単一的取組から多面的取組**（統合的課題解決）」に深化させていく

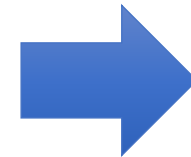
地域課題
ニーズ



地域資源
固有価値



相互連携
パートナーシップ



新たな価値創造



地域経済循環
地域ビジネス促進

- **地域循環共生圏は、ローカルビジネスの創出や、地域経済の活性化・経済循環拡大にも大きく貢献**
- **Society5.0も活用し更なる異分野連携や統合的課題解決を地域ビジネスベースで進められるよう環境省もプレーヤーとして最大限活動**